

1commonsとは...労働者農民市民が協働して、国家と私を
超えた自治と生産の共同の場を、共につくり出すこと

沖縄県民平和大会 11・23に1万人超!

発行所/ commons
編集機関紙局/ 東京都中野区新井2-7-12-25号
commons政策研究機構内
電話: 03-3389-0411 Fax: 03-3389-8573
編集/ 革命21
The Communist Association for Revolution Movement 21
郵便振替口座/ 1部500円 半年2500円(1年5000円)
郵便振替口座/ 00100-5-391171 (commons政策研究機構)
ウェブサイト: http://www.com21.jp
Eメール: rev@com21.jp

commons

Commons



「オスプレイが左エンジンから
火をふいて空港近くの海岸に墜落した」

久島沖墜落 - 米政府は
全世界で全機運用停止

米軍横田基地所属の垂直離
着輸送機CV22オスプレイが
11月29日、鹿児島県久島沖
に墜落した。乗組員8名全員
の死亡も確認され、日本国内
で初めて乗員の死者が出た事
故となった。
この海域は地元漁民の漁場
で、墜落時にも漁船数隻が操
業しており、漁船や地上にも
被害が及ぶ可能性があった。
にもかかわらず岸田政府
は、米側の顔色を伺いオスプ
レイの即時飛行停止の要請す
るべきで、米追従の姿勢を
とらねばならぬ。
米軍も当初は「(日本から)
正式な要請は受けていない」
と開き直り飛行を継続してい
たが6日、墜落事故原因がオ
スプレイ機体の欠陥にある可
能性を認め、世界での全機の
運用停止を明らかにした。
そもそもオスプレイは、米
国内では試験飛行段階から死
亡事故が頻発し、あまりの機
体の多さに「未加工製造機」
「空飛ぶ棺おけ」などと呼ば
れてきた欠陥機である。
その最大の欠陥は、エンジ
ンが停止しても安全に着陸で
きる「自動回転」(オートロー
テーション)機能がないこと
にある。このような「構造的
欠陥機」は飛んではならない
ものである。
米軍は、世界で海軍、空軍、
海兵隊合わせて400機のオ
スプレイを配備し、日本には

沖繩を再び戦場にさせない!

11月23日、沖縄・那覇市
の奥武山公園陸上競技場に
おいて、沖縄県内の70を超
える市民団体や個人で構成
する「沖縄を再び戦場にさ
せない会」主催で、「11・
23県民平和大会」が開催
された。
1万人以上が参加し、全
国と全世界と団結して戦争
を止める決意を内外に発信
する「集会宣言」を採
択した。(※面下段参照)
駆けつけた玉城デニー知
事は「今もなお日本全体の
70%あまりの米軍基地面積
を押し付けられているこの
不条理を正していかなばら
ない。子どもたちの未
来が戦争の未来であっては
ならない」と訴え、主催者
代表の瑞慶覧長敏共同代表
が「平和をつくるため心を
一つにしよ」と呼びかけ
た。
大会は米軍に追従して
対中戦争の最前線を担った
正門前集会(※面参照)

大会の特徴は、全県組
織が主導してきた従来の大
規模集会とは趣きを変え
て、主催団体に政党や労組
団体は加わらず、知事や国
會議員、県議らも「米軍」
とし、思想・信条を越え
沖繩戦を経験した高齢者か
ら10代20代の若者までの幅
広い年齢層の県民が迫りく
る戦争への危機感を共有し
たことである。
特に注目すべきことは
「若者の声は、まだ反戦平
和を語るような力強いメッ
セージではないかもしれない。
しかし思いは同じだ。
戦争のない平和な時代を、
自分たちの未来をつくるこ
とを誓っている。若者を見守
って押し出してほしい。全
力で支えてほしい」と山城
博治氏(県民の会)事務
局長)が発言したように、
集会の運営に若者が加わ
り、若者の表現多様な企
画を取り入れたことであ
る。
集会に先立つ音楽コン
サートや巨大な魚を描く
壁画など、米軍に追従する
政府の対米追従の姿勢は
「日本は主権国家か、まるで
米国の属国だ」と同機配備地
区住民から不安と怒りが噴出
し拡がっているように、この
国のある方の根源的な問題を
あぶりだした。
沖縄と日本からの欠陥機の
全面撤去を求めて世論と運動
を起そう!

欠陥機 オスプレイは沖縄・日本から全面撤去を!

米軍は、世界で海軍、空軍、
海兵隊合わせて400機のオ
スプレイを配備し、日本には
北海道から沖縄まで全国にお
よび、東北の三沢、東京の横
田をはじめ、木更津、富士、
岩国、佐賀に至る各地の住宅
上空での航空法違反の超低
空飛行など危険な飛行を野放
ししている。
歴代の自民党政権は事ある
ごとに「日米安保軍事同盟
第一の態度をとってきた。
今回の墜落事故とそれに対

日米両政府の対中国戦争を止める ための歴史的な第一歩が始まった!

若い世代を押し出す沖縄の新たな挑戦に学ぼう

大衆の運動が学ばべき重
要な挑戦ではないだろうか。
年末の12月20日には、名
護市辺野古の新基地建設の
ための埋め立てなど設計変
更申請をめぐる国の代執行
訴訟の判決が出る。
沖縄の闘いは新たな闘いの
フェーズに入る。
心して本土での闘いの強
化に取り組もう!

若い世代を押し出す沖縄の新たな挑戦に学ぼう

大衆の運動が学ばべき重
要な挑戦ではないだろうか。
年末の12月20日には、名
護市辺野古の新基地建設の
ための埋め立てなど設計変
更申請をめぐる国の代執行
訴訟の判決が出る。
沖縄の闘いは新たな闘いの
フェーズに入る。
心して本土での闘いの強
化に取り組もう!

裏金疑惑! 底なし沼の金権政治、自民党の腐敗

岸田政権は総辞職 退陣しろ!

物価高の生活に苦しむ庶
民が1円でも安いものを買
い生活を切りつめている時
に、1000万円だ、30
00万円だとぬれ手にあわ
で裏金を懐に入れていた政
治家たちの金権政治の腐敗
を絶対に許してはならな
い。
ひたすら米軍に追従し、
金と数の力で長く権力を欲
しいままにしてきた自民党
政治とそこに群がる派閥・
政治家集団のおごりと膿が
腐臭を放つ今、自民党・岸
田政権は政治資金規正法の

岸田政権は総辞職 退陣しろ!

抜本的改正、企業・団体献
金の全面的禁止はいうまで
もなく派閥を解体し、総辞
職し退陣すべきである。
わが国の政党政治の腐敗
極まった危機を打開する道
は、大衆的包囲と行動で自
民党政権を終わりにし、自
ら始まっている。
らの運命は自ら決める自己
決定権と民衆自治を労働と
生活、地域に根差して真っ
当に生きる労働者・市民の
手に奪い返す以外にない。
その新たな闘いは沖縄
で、全国各地のそこそこか
ら始まっている。

日本政府はイスラエルのガザ大虐殺を許すな

国連安保理は8日、事務総長の国連憲章第99条による求めによって開催され、「ガザの大惨事」
回避のための「人道目的の即時停戦」決議案をアラブ首長国連邦が提出し、英国が棄権に回っ
た以外は日本を含む13カ国全てが賛成したが、米国の拒否権発動で否決された。

12日、国連総会は緊急特別会合を開き、「即時の人道的停戦」決議を国連加盟国の約8割に
あたる153カ国の賛成多数で採択した。ここでも米国はイスラエルと共に反対し、英独などは

国連総会「即時人道的停戦」決議、米は拒否!

棄権し、日本は賛成した。世界の世論を背景に、国連総会決議が採択され国際社会の意思が示
されたといえる。
これら決議をめぐる過程で、米バイデン政権の停戦妨害、イスラエルのジェノサイドに加担
する犯罪性、世界的世論の中の孤立が浮き彫りとなった。
決議に賛成した日本政府が、イスラエルのガザ大虐殺を許さず、ガザ即時停戦・住民虐殺即
時中止のため緊急の行動を取るよう、声をあげよう!



大野和興 (農業ジャーナリスト)

■本稿は7月2日の「ゲノム問題研究会」シンポジウムでの発題を基に構成



食が「国家」に取り込まれる

食料安保の罠 (3)

世界的視座で農と食の問題を追いつける、わが国農業ジャーナリスト第一人者の大野和興さん。同氏の農業と食料問題に関する最新提言が前号に掲げた5つのテーマを基にした論考だ。同氏の食に関する問題の在り所を共有すべく、連載でお伝えする。【コモンズ編集部】

いま村では何が起きているかー現場からの報告

花退治の時代がすぐそこに 小説『花』と映画『花物語』

まるで恋人にめぐりあったような気分だ。 映画界を代表するほどの有力映画会社制作なのにフィルムが見つかからない。DVDにもなっていない。 だが見たかった。見なければいけない。たまたまの人に逢ってもらわなければならぬ。 有機農業を軸におきながら自然の多様性やその劣化、循環、食、風土、など幅広いテーマについて内外の映像を集め、上映活動もしてきました。 コロナを挟み今年で17回目を迎える12月2日に映画祭を行いました。 今年何を上映するか、夏ごろから議論が始まりました。 実行委員会では世界で進む劣化、温暖化、西アフリカ

なにもかも軍事化

台湾有事で中国が攻めてくると自公政権が煽り立て、日本の食料自給率が極端に低いこと(積ひつき)への対応は日本人が飢える」とこの国の最高権威東京大学教授がのたまう。右も左も「食料安保」を叫ぶ。その中には作付け作物の強制的な転換などが盛り込まれています。 今年何を上映するか、夏ごろから議論が始まりました。 実行委員会では世界で進む劣化、温暖化、西アフリカ

花と戦争

映画『花物語』の舞台となったのは南房総です。 アジア太平洋戦争の末期、戦地では弾に当たって死ぬより餓死する兵隊の方が多いという状況に入っていました。 近代戦争は国家が戦争主体となつてあらゆる物的・人的資源を戦争遂行にぎぎと総力をこめて投入する。 日本が真珠湾を攻撃した年です。果樹、花、お茶、桑など腹の

戦時へ逆戻り

この映画は作家田宮虎彦の『花』が原作です。 事実をもとに綿密な検証を重ねた小説『花』は、原稿の風土、労働、農業、日暮に突き刺さり、日常を壊す権力のありかを見事に表現しています。 その小説を映画にした『花物語』は、映画祭の音響施設を持ち込んでの今回の国際有機農業



映画「花物語」

1989年製作/96分/配給：大映

●太平洋戦争末期、花作りの盛んな千葉県南房総を舞台に花を守り愛した実在の女性の姿を描く。田宮虎彦原作の小説「花」を映画化。女性主人公ハマを高橋恵子が演じた。

【ストーリー】 食料難の太平洋戦争末期。あちこちで花畑も野菜や穀物に転作されていた。

そんなご時世にもかかわらず、花の栽培に夢を託すハマに村人たちは「非国民」と陰口を叩いていたが、ハマは小さな善兵衛畑の花だけは残そうとしていた。…そんな時、「食糧管理法」が施行され、すべての田畑に食物を植えることが義務づけられた。

花を栽培することは、明らかに法を犯すことになる。男一は、作次が止めるのも聞かず、善兵衛畑の花を引き抜くのだった。

落ち込むハマだったが、雑木林の片隅の吹きさらしの谷に小さな荒地を見つけた彼女は、そと水仙を植えつけるのだった。 戦争はどんどんひどくなり…だが、ハマは谷の花をひたむきに守り続けるのだった。

しかし、この花も何者かに引き抜かれてしまい、戦争は花を咲かせる自由すら奪った。そんな時、ハマに夫の戦死が告げられた。そして終戦の日が来た。

…ハマは、息子男一が戦争から戻って来る日を願いながら、花の栽培に励むのだった。



田宮虎彦著「花」

全国と全世界と団結して戦争を止める 私たちはその決意を内外に発信します。

政府は「数百年「中国脅威」を強調し、昨年2022年の暮れには「安保関連3文書」を閣議決定しました。その上で「台湾有事」「南西諸島有事」に備えるためとして、最大の軍事強化を図ることを宣言しています。与那国、石垣、宮古の島々に限らず沖縄島や奄美、馬毛島に至るまで自衛隊基地が相次いで建設されミサイルや弾薬が持ち込まれています。さらに島々の空港、港湾をはじめとする公共インフラの軍事利用が謳(うた)われ、その上で空港滑走路の延長や港湾の拡張新設のために予算化が図られています。

また驚くことに、日本から直接中国本土を攻撃する長射程のミサイル開発に乗り出すことが明言され、米国から2000億円の巨費を投じて購入するトマホークミサイルの配備計画について1年前倒しで2025年から配備する動きになっていると報じられています。米軍の無人偵察機MQ9が自衛隊鹿屋基地から嘉手納基地に、地域住民の反対を押し切つて配備されたように、また沖縄が配備先になることは必至です。

一方、自衛隊や米軍は、昨年2022年11月に実施された日米共同軍事演習「キーンソード23」や今年10月に実施されたレゾリューション23のように最大規模の軍事演習を相次いで強行し、そのたびに島々に大量の軍事兵器が持ち込まれるようになり、自衛隊や米軍の車両が白昼市街地を走り回り制服姿の自衛隊員が隊列をなして行軍するようになっており、戦前を彷彿(ほうふつ)とさせる光景が広がっています。かつてない軍事的緊張が島々を覆っています。

そのような情勢下で政府は、戦争の足音に恐怖する県民感情に配慮するどころか、辺野古新基地建設の代執行問題に見られるように「安保外交・基地問題」は「国の専権事項」と強硬姿勢を強めるばかりです。「台湾有事は南西諸島有事」「台湾有事は日本の有事」と言い切った安倍政治を踏襲し「南西諸島」の島々の軍事基地強化に邁進しています。このままでは本気で戦争が起きかねません。何としても政府の暴走を止めなくてはなりません。沖縄戦の悲劇を繰り返さないために、私たちは今こそ、戦争をするな！無謀な戦争を繰り返すな！と腹の底からの声を上げようではありませんか。

台湾問題は中国の国内問題であり決して軍事介入して事の決着を図る問題ではありません。台湾問題に限らず諸外国との外交問題は、決して武力に訴えることなく、外交を柱に對話を通じた相互理解と相互尊重の立場で問題解決を図るはかばかではありません。そのことが先の戦争から学んだ教訓であるはずで、私たちは政府に対し、平和外交に徹し問題解決を図るべきであることを強く訴えます。

私たちは本日の平和大集会で戦争に反対する県民意思、全国各地から参集した多くの市民の燃え立つ思いを発信しました。本日の集会は、今後さらに拡大していく県民大運動、全国運動の序章でありスタートラインに立ったばかりと言えます。戦争の道を暴走する政府の動きを止めるために、思想信条を越え老若男女が手を取り合つて団結すること。次は5万10万人の単位で県民総決起の大集会を開催して政府にそして全国に県民の決意を伝え、全国と全世界と団結して戦争を止める、私たちはその決意を内外に発信します。

以上、ここに宣言します。

11・23県民平和大会

11・23(沖縄)県民平和大会 宣言

